

中村 元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

中村 元 慈しみの心

No.221

家に両言有る時は針をも買ふ事無し。家に両言無き時は金をも買ふべし。
(道元)

△解説▽家に諍いがあると生活は乱れ、買うべきものも買えない。僧院も同様で、和合することが大切である。僧院は僧たちが求道の心を同じくし、励まし合いながら修行するところである。和合はなにも僧院に限ることではない。人間は協調し和合して生きていくべきものである。和合とは平和の同義語である。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.15 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月15日(水曜日)

中村 元 慈しみの心

No.220

夫れ、事独り断むべからず。必ず衆と論べし。
(聖徳太子)

△解説▽「憲法十七条」の最後の第十七条である。上の文につづいて次のように補足し説明している。小事は必ずしも議論しなくてもいい。しかし大事なことは過ちをおかしてはいけないから、独断せず、衆と議論すべきで、そうしてこそ理にかなったものとなる。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.14 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月14日(火曜日)

中村 元 慈しみの心

No.223

他人を苦しめることによって自分の快樂を求めるとは、怨(うら)みの絆にまつわられて、苦しみから脱れることが出来ない。
(ブツダ)

△解説▽私たちは自分の利益を求めて、しばしば他人を犠牲にしている。当然怨みをかうが、その報いは種々な形で自分に返ってくる。現代は他人の迷惑など無視するエゴが強い。良心がハタラクにくくなっている。正しいことではなからう。真の幸福とは他人も自分も幸福になることとでなければならぬ。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.17 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月17日(金曜日)

中村 元 慈しみの心

No.222

百花、春到って誰が為にか開く。
(碧巖録)

△解説▽筆者の近くの上野公園は桜の名所である。枯れ枝が何となくふっくらし、芽ぶき、あつという間に満開となる。風が吹いても花びら一つ落ちない。数日すると風もないのに散っていく。そして葉桜となり、青葉となり、紅葉し、枯れ枝になる。満開の時も枯枝の時も、様態は違いますが桜は常に精いっぱいイノチを生きている。その見事さを愛(め)でるべきであろう。満開の桜だけが桜ではない。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.16 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月16日(木曜日)

中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

中村元 慈しみの心 No.225

君子の力牛に勝れたり。しかれども牛とあらそわず。(道元)

△解説▽牛より強い君子の力とは体力のことではない。人間としての知性と徳性の力であろう。自分がすぐれていると自覚しても牛と争う人はいない。人間の世界でも同じことが言えよう。「この点については自分の方がまさっている」と思うものがあったとしても、それを特に自慢しないのが君子である。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.19 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月19日(日曜日)

中村元 慈しみの心 No.224

△解説▽人間は感覚的楽しみに弱い。六根(眼耳鼻舌身意)を通じて私たちは六境(色声香味触法)の楽しみに魅了され、求める。しかし、求めて得られないことは多く、求め得てもさらなるものを求める。常に求めることは、常に欲求不満たということである。やはり「六根清浄」が幸福をもたらす道である。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.18 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月18日(土曜日)

中村元 慈しみの心 No.227

柔和をもって怒りに勝ち、善をもって悪に勝ち、施しをもって吝嗇に勝ち、真実をもって虚言に勝て。(ブッダ)

△解説▽自分の心を調えることは難しい。貪瞋痴は人間の煩惱の代表で、だから「三毒」などという。解毒剤はない。やはり怒りには怒らないこととで、吝嗇は実際に与える行為で、許りには真実という事実でおさえこむしかない。「態度で示そう」という歌は意外に人間の真実を衝いている。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.21 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月21日(火曜日)

中村元 慈しみの心 No.226

友と交わるには、須く三分の俠気を帯ぶべし。人と作るには、一点の素心を存するを要す。(「菜根譚」)

△解説▽人間関係が崩れている世相である。親子、兄弟、夫婦、師弟、友人関係などの中で争いが絶えない。自分の利益のみを追って他者の都合を考えない。わずかでもいいから他のために尽くす義侠心と純粹な心はないものか。中国明代の教養書「菜根譚」の嘆きは現代に通じている。

奈良康明・駒澤大名誉教授

2016.6.20 中村元記念館協力

2016年(平成28年)6月20日(月曜日)